

令和5年4月28日
林 野 庁
近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所

令和5年度 奈良森林管理事務所 重点取組事項の公表について

奈良森林管理事務所では、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、国有林が有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者との連携を図りつつ、木材の安定供給や林業の低コスト化などの地域における林業発展への寄与、地域住民の安全安心な暮らしの確保に向けた災害防止対策など、各般の取組について積極的に進めてまいります。

このたび、令和5年度の重点取組事項に関する資料をとりまとめたので、公表します。

【問い合わせ先】

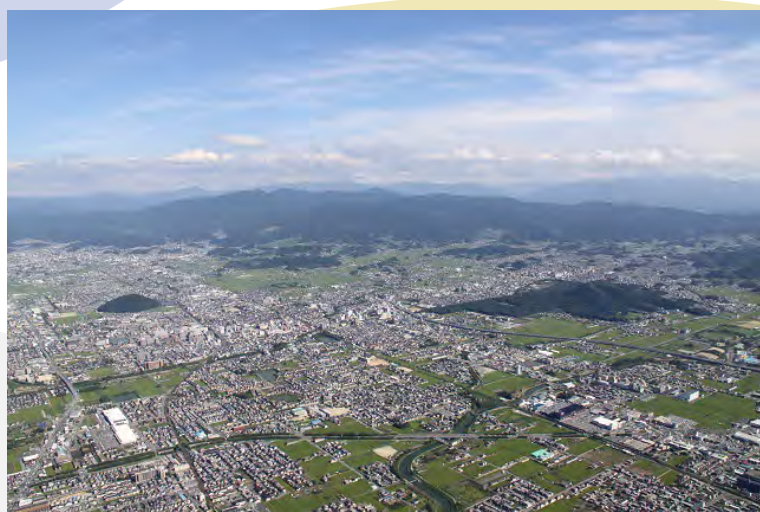
林野庁近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所
担当者：調整官
〒630-8035
奈良市赤膚町1143-20
電 話：050-3160-6150



林野庁



【高取城「城壁」】(高市郡高取町 高取山風景林)



【大和三山】(橿原市 大和三山風景林)

令和5年度 奈良森林管理事務所重点取組事項



【地獄谷石窟仏】(奈良市 地獄谷国有林)



【持経千年松】(吉野郡十津川村 白谷山国有林)



【ガマ滝】(吉野郡天川村 地峯国有林)

令和5年度 奈良森林管理事務所重点取組事項について

目次

- 1 公益重視の管理経営の推進等
- 2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開
- 3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及



1 公益重視の管理経営の推進等

国土の保全、地球温暖化防止及び生物多様性の保全等公益的機能の維持増進を旨として、森林整備事業や治山事業の計画的かつ効果的な実施、保護林制度による原生的な森林生態系の保全・管理など、公益林としての管理経営を適切に推進します。

治山事業による国土強靱化

民有林直轄治山事業の着実な実施

国民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、効率的かつ効果的な治山対策に取り組めます。

特に、平成23年の紀伊半島大水害からの早期復旧に向けて、奈良県からの要請を踏まえ、地域の安全・安心を確保するため、令和5年度においては、十津川村、天川村において、8箇所民有林治山事業を予定しており、着実な事業の実施に取り組めます。



【山腹工施工状況】

つぼのうち

(吉野郡天川村 坪内工区 R4.11 撮影)



【溪間工施工状況】

こうづだに

(吉野郡十津川村 河津谷工区 R5.3 撮影)

森林土木工事におけるICT化の推進

森林土木工事における働き方改革の推進、生産性向上への取り組みとして、遠隔臨場における監督業務等の推進に取り組めます。

また、受発注者間のコミュニケーションの円滑化、事務負担の軽減を図るため、情報共有システムの推進に取り組めます。



※遠隔臨場システムとは、ウェアラブルカメラ等により映像と音声を受注者と監督職員等（場合によっては所内担当等含む）双方向通信を使用して、段階確認、材料検査、立会等を遠隔臨場を行うもの。

※情報共有システムとは、受注者と監督職員の情報共有（報告・協議・指示）等を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図るシステム。

流域治水と連携した国土強靱化対策

大和川流域水害対策協議会、検討WG及び新宮川流域治水協議会への積極的な参画と、各協議会における取り組み方針に基づく取り組みの推進と、情報共有を図ります。

特に、新宮川水系流域治水プロジェクトにおける治山事業・砂防事業との連携の促進や技術の向上等を目的とした、技術交流会等の実施に取り組めます。



治山事業と砂防事業
の技術交流会
(民直治山現場の説明)

にぎりだに
(吉野郡十津川村 濁谷工区 R5.1
開催)

生物多様性の保全

保護林等の優れた自然環境を有する国有林の管理運営

奈良森林管理事務所では、原始的な天然林の保護・管理や自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護等を目的として、6箇所の保護林を設定しています。

名称	面積	選定理由
金剛山ブナ希少個体群保護林(御所市)	16ha	縞状に取り残された希少ブナの群落の保護
鳴川山生物群集保護林(吉野郡天川村)	346ha	大峰山系における代表的なウラジロモミ・コメツガ天然林の保護
北股暖地性昆虫生息地希少個体群保護林(吉野郡川上村)	123ha	特異な分布をしている暖地性昆虫の生息地の保護
池郷生物群集保護林(吉野郡下北山村)	703ha	そばやき要素と呼ばれる西日本太平洋側に特徴的な生物群集を有する森林の保護
天川水生生物希少個体群保護林(吉野郡天川村)	147ha	水生生物の保護
入谷ブナ・ツガ・ウラジロモミ希少個体群保護林(吉野郡天川村)	81ha	希少なブナ、ツガ、ウラジロモミ天然林の保護



【鳴川山生物群集保護林】
なるかわやま
(吉野郡天川村 鳴川山国有林)



【北股暖地性昆虫生息地希少個体群保護林】
きたまた
(吉野郡川上村 北股国有林)

国民の森林としての経営管理

レクリエーションの森を活用した地域振興

林野庁では、森林資源を活用した観光資源の創出に取り組んでおり、国有林に設定している「レクリエーションの森」のうち、特に魅力的な自然景観等を有し、国民のみなさまに訪れていただきたい国有林を「日本美しい森お薦め国有林」として93箇所を選定し、重点的に整備を図ることとしています。

奈良森林管理事務所管内では「大和三山風景林」と「高取山風景林」の2箇所が選定され、地元関係者からなる管理運営協議会と連携し施設整備等の取組を進めています。

令和5年度の取組

「大和三山風景林」(橿原市)及び「高取山風景林」(高取町)について、管理運営協議会を開催し、地域の要望を踏まえつつ整備内容の調整を図り、今年度の活動方針を定め、歩道調査設計、修景伐採などを行う予定です。



【大和三山風景林 歩道整備】
かぐやま
(橿原市 香久山国有林 R5.1 完成)



【高取山風景林(高取城本丸跡からの眺望)】
たかとりやま
(高市郡高取町 高取山国有林)

木材の安定供給・利用

木材の安定供給の推進

地域における木材供給体制の構築等を図るため、国有林の森林整備の結果発生した間伐材等(丸太)の持続的かつ計画的な供給に努め、林業・木材産業の成長産業化に貢献してまいります。

なお、令和5年度は列状間伐による森林整備事業を通じて800m³(システム販売含む)の出材を予定しています。



【木材市売での販売 R4.7 撮影】

事業等での木材利用

林野公共事業において、間伐材等の木材及び木製品を積極的に利用していきます。



【間伐材を使用した丸太筋工】

りゅうのたにやま
(吉野郡上北山村 龍ノ谷山国有林)

木の文化継承への貢献

我が国の木の文化の象徴とも言うべき歴史的木造建造物を後生に守り伝えていくため、「古事の森」の設定による修復用資材の供給や森林と木の文化の関わりやその重要性について普及啓発イベントを実施するなど、様々な関係者と連携し、木の文化継承に貢献する活動に取り組んでいます。

令和5年度の取組

「春日奥山」及び「斑鳩の里法隆寺」の各協議会主催による、森林と木の文化に関連した普及啓発イベントや枝打ちなどの森林整備に取り組む予定です。



【春日奥山古事の森普及啓発イベント R4.11 開催】



【斑鳩の里法隆寺育成協議会開催 R4.7 開催】

2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開

森林・林業基本計画（R3.6.15閣議決定）で位置づけた、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、国有林では生産性向上や低コスト再造林、効率的な鳥獣被害対策等の実証・普及に取り組むこととしています。また、その成果は民有林へも普及を図ります。

造林の低コスト化・省力化に向けた取組

下刈の省力・削減の取組

再造林後の下刈は、低コスト、労力の観点から最大の課題となっていることから、省力・回数削減に取り組めます。

具体的には、画一的な下刈を実施するのではなく、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら下刈を省略するなどの取組を行います。

奈良森林管理事務所では、令和4年7月に下刈の省略に関する検討会を開催しました。令和5年度は2.36haの下刈を省略することとし、また、下刈の労働の軽減や安全の確保の観点から冬下刈の試行に取り組む予定としています。



【下刈省略の検討会】

いりたに
(吉野郡天川村 入谷国有林 R4.7 開催)

素材生産の低コスト化・省力化に向けた取組

伐採と造林の一貫作業システムの推進

奈良森林管理事務所では、植栽をともなう伐採を行う場合、通常は翌年度以降に行っていた苗木の植付を伐採直後に行う一貫作業システムを取り入れることで、造林コストの削減に努めています。

一貫作業システムは、植付時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能となります。

また、木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減します。

令和5年度の素材生産事業は、間伐作業のみを予定しているため、植付作業は行いませんが、令和4年度の桧股国有林の素材生産事業において一貫作業システムによる植付を行いました。



【伐採と造林の一貫作業現場】

ひのきまた
(吉野郡野迫川村 桧股国有林 R4.10 撮影)

鳥獣害対策の推進

地域との連携による捕獲

ニホンジカによる食害が農林水産業等に深刻な被害を及ぼしている中、広域に移動するニホンジカの対策は、農業被害を主体とした里地域のみでの対策だけではなく、本来シカが生息している森林における対策が必要となります。

奈良森林管理事務所では、国有林と周辺の民有林や農地等の被害対策を市町村と連携して取り組んでいきます。

なお、令和5年度は委託事業での捕獲を桧股国有林(吉野郡野迫川村)及び伯母子国有林(吉野郡野迫川村)において実施する予定です。



【ニホンジカによる立木の剥皮被害】



【くくりワナによる捕獲(委託事業)】

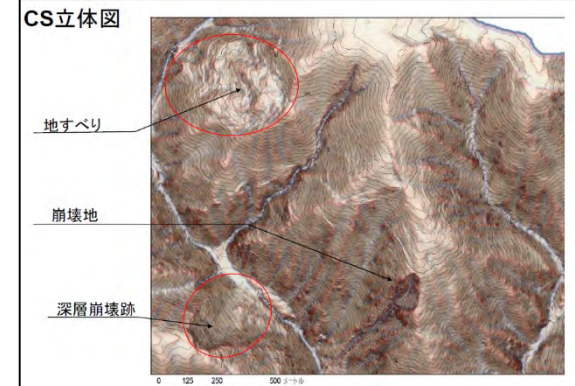
ICT技術の活用推進

ドローンの活用

災害時等の初動活動におけるドローンを活用しての被害把握調査、森林の状況等を把握するための調査に活用するとともに、UAV測量によるオルソ画像の取得による3Dモデル、点群データを活用したCS立体図等の作成に取り組むとともに、微地形判読を活用した工法等の検討に取り組みます。



【林道災害の状況調査】



【CS立体図参考】
(長野県林業総合センター 戸田氏の作成資料より)

3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが我が国の森林・林業にとって重要な課題となっています。こうした状況をふまえて、国有林のフィールドや技術を活用して民有林の支援に取り組みます。

現地検討会

市町村林務担当者への支援や林業事業体の育成に向け、国有林のフィールドを活用した現地検討会を開催し、低コスト造林、伐採から造林までの一貫作業システム、獣害対策等の国有林で実践している技術の普及をしていきます。5年度は、都市近郊林をテーマとした竹伐採による里山再生と省力化造林を実施予定です。

令和5年度 現地検討会開催予定



【現地検討会(スイス式集材システム)】
たかとりやま
(高市郡高取町 高取山国有林 R5.2 開催)



【低コスト造林試験地(1年生コンテナ苗植栽)】
ひのきまた
(吉野郡野迫川村 桧股国有林)

実施時期	テーマ
7月	竹伐採による里山再生と低コスト省力造林の取組

市町村支援

市町村行政への支援について、市町村が抱える地域課題や国有林への要望に合わせて、重点的に支援に取り組む地区及び事項を設定し、効果的な支援の推進に取り組めます。

また、次年度予算の説明会において、農政局と合同で市町村を訪問のうえ、林野関係予算の説明を実施することともに、市町村支援メニューについても要望を聞き取ることにしています。



【市町村支援メニュー R4.5改訂】



【合同概算予算説明会 R4.12 実施】

林業大学校等への支援

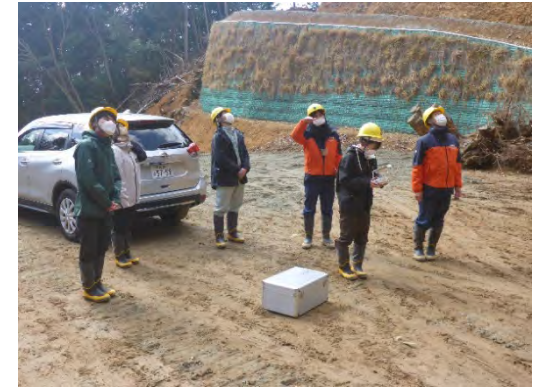
奈良県フォレスターアカデミー（令和3年4月開校）について、現地検討会の開催、国有林を実習フィールドとして提供にも取り組むなど、支援を深めています。

また、大学等各種教育機関からの要請に応じたインターンシップの受け入れなどを通じて、地域における林業関係者の育成に向けて、教育機関と連携した取組を進めています。



【実習フィールドの提供（奈良県フォレスターアカデミー）】

たかとりやま
（高市郡高取町 高取山国有林 R4.9 撮影）



【インターンシップ（ドローン操縦体験）R5.2 実施】
（多方面の大学等の学生4名が参加）

森林環境教育の推進

大亀谷国有林（奈良市）では、「ふれあいの森」、「遊々の森」を設定し、ボランティア活動による「森林整備」や連携による「森のようちえん」などを行っています。

令和5年度も引き続き、教育機関等からの要請に基づく講師派遣、国有林のフィールドを活用した森林環境教育などに取り組めます。



【ふれあいの森での紙芝居の上演】

おおかめだに
（奈良市 大亀谷国有林 R4.11 開催）



【六条ふれあいまつりでの木工教室】

（奈良市 六条小学校校庭 R4.10 開催）

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和5年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	23.6
	間伐	千m ³	10.5
販売	立木販売	千m ³	23.6
	製品販売	千m ³	0.8
造林	地拵え	ha	3.1
	植付	ha	3.1
	下刈り	ha	
	つる切・除伐	ha	
	保育間伐（活用型・ 存置型）	ha	32.4
	保育間伐（本数調整 伐）	ha	
林道	林道新設	km	510
	改良	km	124
治山事業	国有林直轄治山	百万円	50
	民有林直轄治山	百万円	1,537

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量（分収育林分23.6千m³）を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

林野庁 近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所

〒630-8035

奈良県奈良市赤膚町1143-20

TEL: 0742-53-1500

E-mail: kc_nara@maff.go.jp